

# 令和5年度 地理B (3学年) シラバス

教科名	地理歴史科	科目名	地理B	単 位	2単位	
使 用 教科書	新詳地理B 初訂版 (帝国書院) 新詳高等地図 初訂版 (帝国書院)		学 科		学年・HR	3年1・2・3・4組 (理数科) 3年5・6・7組 (国際英語科)
副教材	最新地理図表 GEO (第一学習社) ウィニングコンパス地理の整理と演習 (とうほう)					

## 1、学習目標及び評価

学習の到達目標	使用教科書・副教材等
① 自然環境、資源・産業、都市・村落、生活文化等を通して現代世界の特色を探る。 ② 現代の世界を地域 (市町村規模、国家規模、州・大陸規模) を通して学ぶ。 ③ 現代世界の諸課題 (国家間、日本の近隣諸国、環境・エネルギー問題、人口・食料問題、居住・都市問題、民族・領土問題) を理解する。 ④ 地理という学習 (教科) が世界を捉えるうえで重要であることを理解するとともに、世界の諸課題に対して考え、自分の意見を述べる力を身につける。	① 教科書名 新詳地理B 新詳高等地図 (帝国書院) ② 副教材 新詳地理資料COMPLETE2022 (帝国書院) ウィニングコンパス地理の整理と演習 (東京法令出版) 地理統計 (帝国書院)

## 評価の観点の趣旨

1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 意欲・態度
日本を含む世界の生活と文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、知識を身につけているか。	地理的事象を世界的視野に立って多角的、多面的に考察しているか。国際社会の変化に的確に対応し、公正に判断しているか。	地理的事象について関心をもっているか。また、課題意識をもち、意欲的に追求しているか。

## 2、学習計画及び評価規準・評価方法

月	配当 時数	単 元 学習項目	学習の目標及び評価規準	評価の観点			評価方法
				1	2	3	
4	8	・オリエンテーション 2節 東アジア	・オリエンテーション ・東アジアについて、中国の動向と日本、韓国の産業、隣国との交流を項目ごとに整理して静態的に考察する。	○	○	○	プリント確認 行動観察 質問紙 確認テスト
5	5	3節 東南アジア	東南アジアについて、ASEAN諸国の変化と諸課題という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。	○	○	○	確認テスト プリント確認
	5	4節 南アジア	南アジアについて、インドの農業と農村、工業・IT産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。	○	○	○	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1学期中間考査</span>
6	4	5節 西アジアと中央アジア	西アジアと中央アジアについて、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業の面において、類似的な性格の二つの地域を比較して考察する。	○	○	○	プリント確認 行動観察 確認テスト <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1学期期末考査</span>

7	3	6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ	北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、一次産品への依存等を考察させる。	○		○	プリント確認 行動観察 小テスト
	6	7節 ヨーロッパ	ヨーロッパについて、これからのヨーロッパという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。	○	○		自己評価 授業評価
9	3	8節 ロシア	ロシアについて、極東ロシアと日本の結びつきという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。	○	○		確認テスト 行動観察 プリント確認 <b>2学期中間考査</b>
	4	9節 アングロアメリカ	アングロアメリカについて、自然環境、人口と都市、農業、科学技術と産業、カナダという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。	○		○	
10	4	10節 ラテンアメリカ	ラテンアメリカについて、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。	○	○	○	プリント確認 確認テスト 質問紙 行動観察
	4	11節 オセアニア	オセアニアについてアジア諸国に輸出される農畜産物という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。	○		○	
11	4	3章 現代世界と日本	現代世界における日本の特色について、多面的・多角的に考察させる。		○	○	プリント確認 行動観察 <b>2学期期末考査</b>
	16	地理の総復習	・予想問題に取り組み、問題分析をする。				
12 1				○	○	○	問題分析シート 自己分析シート

### 3、授業の進め方

- (1) 各担当が作成した資料を基に授業を進める。ファイルなどを使用する。
- (2) 授業の前に教科書、資料集などを使用して予習する。

### 4、学習上の留意点

- (1) 系統地誌における語句の意味などを理解すること。
- (2) 様々な地理情報を組み合わせ地理的思考を用いて考察し、現代における諸問題を考察できるようにすること。